

神崎郡

〔伊呂波字類抄安國郡〕近江國略○中神崎カンサキ

〔郡名考〕近江國 神崎カンサキ 崎同

〔近江國輿地志略神崎郡〕夫神崎郡の名は郡中に神崎村あるによつて名とすたとへば志賀郡中

に志賀あつて郡名とするが如し神崎村と云は神社あるの湖岸なるゆへに名づく神崎村今は

甲崎村カウサキと云日本紀の天智紀に神崎の文字に作る當郡西は湖水東は愛智郡なり巽は伊勢の國

界釋迦嶽に隣南と坤には蒲生郡に接し又地略鯰魚の形に似れり西の方伊庭山福堂川南神崎

邊南北廣し分代山上池田の邊漸細して帶のごとし釋迦嶽の邊に至て亦少しく廣し江戸街道

より西を下出と云下の郡と號す江戸街道より東を上出といふ上の郡と號す

〔日本書紀天智三十七〕四年二月是月復以百濟百姓男女四百餘人居于近江國前郡

〔大安寺伽藍緣起并流記資財帳〕合處々庄拾陸處中 近江國六處中略○前郡

〔伊呂波字類抄安國郡〕近江國略○中愛智エチ

〔地名字音轉用例〕アノ行ノ音同行通用セル例

えち 愛智近 衣知エチ 愛ア エニ用ヒタリ

〔近江國輿地志略七十二〕夫以れば愛智の郡名既に舊し三正史六國史あるひは依智惠智の文字

につくるいま専ら愛智の字を用ゆ愛にゑの訓あり因て然り尾張にもおなじ郡名あり是はあ

いちと訓す當郡西南と巽の隅は神崎郡の堺に交り乾の隅は湖水なり北と艮隅とは犬上郡の

さかいに接り東は伊勢の國堺初田山に續けり此の郡は巽と乾とはながふして艮と坤とは短

しいぬるは野良田中下林村の邊にしては地形はなはだ狹し清水西出のあいだにいたつては

漸くひろし鯰江斧磨のあいだに及んでは甚だをいにひろし蛭谷木畑のあいだのごときは

愛智郡